

平成26年度 ほくぎん若手研究者助成金 研究実績報告書

氏名	所属・職名		助成金額
平田 昌輝	芸術文化学部・講師		300,000 円
研究課題名	北陸・中部地域の有文様石の美的検証と彫刻素材への利用研究		
研究の概要	[研究開始当初の背景, 研究の目的, 研究の方法等について記入] 「有文様石」はこれまで、多くの可能性をもちながらも美術作品に加工素材として用いられることはほとんどなく、美的研究はほぼ皆無であった。一方、地質学分野においては多くの岩石研究があり、それを美術に活用し、有文様石の美的価値を明らかにしようとするものであった。 地質図をもとに石の採取地点を選定し、富山県内各地で石を採取した。幅広い種類のある有文様石を比較検証するための標本の検討を行った後、標本を作製し、比較検証を行った。また、有文様石を用いた美術作品を制作し、検証を行った。		
研究の成果	[研究成果について具体的に記入] 有文様石の美的検証において、適切な標本の検討の結果、直交する三平面を研磨したもの(三面研磨標本)が、有効であることを次の理由により結論付けた。——①方向性に対する文様の違いの可視化。②無加工の石肌と研磨面との比較が可能。——今後の研究展開において重要な成果として挙げられる。 富山県内において 24 個の石を採取し、18 個について三面研磨標本を作製し、それぞれについて写真撮影を行った。県内の有文様石を概観する画像データが得られた。 南砺市の石を用いて作品を制作し、2014 年夏の展覧会(下記)にて発表した。他素材組み合わせによる有文様石の効果を試み、美術の専門家から意見を聞くことができた。		
研究成果発表状況	[雑誌論文, 学会発表, 図書, 新聞掲載, 研究に関連して作成したWebページ, 産業財産権(特許権等)の出願・取得状況について記入] 砺波市のギャラリー企画のグループ展で「FRAGMENTS2014」(ギャラリー無量/富山県)に於いて、南砺市の石を用いたインスタレーション作品「仮設の庭」を発表。		
経費の執行状況	区分	執行額(円)	備考
	物品費	195,513	
	旅費	0	
	謝金	9,000	
	その他	95,487	